丹波篠山市立中央図書館通信 No. 186　2021年 2月1日 発行

今月の特集

寒い冬におすすめ！
あったかい本

今月の特集では、編み物や料理のレシピをはじめ、心も身体もあったかくなる本を集めました。

『犬の愛と人の愛』
～涙があふれる25の物語～

石川 利昭 著　　緑書房　　645. 6イ

著者の石川利昭氏は、過去に作家の畑正憲（まさのり）氏が主宰する「ムツゴロウ動物王国」で数多くの動物を飼育していました。現在は北海道でブリーダーとして、２０頭の犬と６匹の猫と暮らしながら、時として野生動物の保護も行っています。

本書は、動物の飼育経験豊富な著者が綴る、２５のノンフィクションです。柴犬のハコ、ラッキー、ゴン吉が子犬の“保育犬”として活躍する『守り育てる犬』、おいしそうな焼き色をしたパンのような茶色や焦げ茶の柴犬の子犬たちが、母犬のもとで過ごす数か月間に繰り広げられる『焦げパン祭り』、脳性マヒを背負いながらも力強く生きる２頭のサモエド犬『コボとタッチは天からの使者』・・・。

モフモフでコロコロとした多くの犬の写真に癒されながら、本を通して犬と人との深い絆と、ぬくもりを感じる１冊です。　（永井）

マークデザイン
加藤昌男

文学の棚から

『世界の児童文学をめぐる旅』

池田 正孝 著 エクスナレッジ 909.3イ

本書は、長く読み継がれてきた児童文学作品の舞台となったイギリスを中心としたヨーロッパ各地を、写真と共に辿(たど)る紀行書です。

著者は４０年前から児童文学作品にまつわる地域を旅し、写真を撮影してきました。あの名作はこの地で生まれたのか、ここであの出来事は起きたのかといことが実感でき、まだ読んだことがない作品は、読んでみたいという衝動にかられます。コロナで身動きがとれない今、極上の旅気分を満喫することができるのではないでしょうか。

ビアトリクス・ポターの「ピーターラビットのおはなし」はイギリス湖水地方が舞台です。この地域の開発計画が持ち上がったことがポターの環境保全活動“ナショナルトラスト”のきっかけになったことはご存知の方も多いのではないでしょうか。１００年以上たった今もその豊かな自然は、物語に登場するポターのイラストそのままの建物を抱え悠然と現存し、訪れる人やピーターラビットファンを癒やし続けています。（小土井）

一般書の棚から

『WOMEN 世界を変えた偉大な女性たち』

キアラ パスクアレッティ ジョンソン 著 ポプラ社 280.4パ

『20 世紀は女性の時代である。女性たちがたたかって勝ち取った成果は当然の権利と受け止められている。しかし、過去１００年の間にこうした変化への道を切り開いた勇気ある女性たちがいなかったら、現在の状況は実現していなかっただろう。』――本書「はじめに」より

冒頭を飾る『エメリン・パンクハースト』は 1900 年初頭、女性の参政権を勝ち取るために戦った初めての女性。武器は帽子とハンドバッグだけという有志と共に「サフラジェット」の主導者としてイギリス政府に立ち向かう。「サフラジェット」は入獄と釈放を繰り返し、1928 年に全面的女性参政権を勝ち取る。（残念ながら彼女はその瞬間を見届けられなかった。）

今日(こんにち)では当然のように参政権があり、男女平等が叫ばれます。その当たり前を築いたのは母・妻・娘でありながら戦った偉大な女性たちでした。彼女を筆頭に、本書に登場するのは日本人１７人を含む総勢６７人の女性。政治・音楽・科学・文学・哲学・建築・冒険・人権・教育・スポーツ・・。あらゆるジャンルから見出された偉大な女性たち。有名な人、初めて見る人、これからも活躍しそうな人。美しい写真と共に綴られたエピソードの数々はコロナ禍(か)の現代(いま)に勇気と希望を訴えるかのようです。（酒井）

「サフラジェット」
２０世紀初頭のイギリスにおいて女性の参政権獲得のために活動した人々を指す。英国ジャーナリストによる造語。

■丹波篠山市立中央図書館（丹波篠山市西吹 88-1） TEL 079-590-1301／FAX 079-594-5450
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.city.tambasasayama.lg.jp/chuotoshokan/index.html

映画上映会のお知らせ

入場無料
申し込み不要

「ダ・ヴィンチ・コード」

２００６年・アメリカ　１４９分・吹き替え
■監督　ロン・ハワード
■出演　トム　ハンクス　他
■日時　２月１２日（金）１４：００～１６：４０
　　２月１３日（土）１５：００～１７：４０
■場所　中央図書館　視聴覚ホール

ルーブル美術館で殺された館長の周りに残された不可解な暗号。
　容疑者として現場に連れてこられたラングドンは、暗号解読者のソフィーに助け出される。フランス司法警察に追跡されながら、暗号の謎を解き始めるふたり。そこには歴史を覆す驚愕の真実が・・・！

図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2 休館日	3	4	5	6
7	8 休館日	9	10 丹波篠山だけ図書館の日	11 図書コーナー休館日	12 映画上映会	13 映画上映会
14	15 休館日	16	17	18	19	20
21	22 休館日	23 図書コーナー休館日	24	25 親子ふれあいスペース開放（図書コーナー）	26	27
28						

環境フォーラム展（農都環境課）1/28（木）～ 2/12（金）

インフォメーション

お立ちよりください　！

中央図書館の展示ホールでは、年間通してさまざまな展示をしています。心を癒す作品や耳寄りな情報発信パネルなどを期間をきめて展示しています。図書館をご利用の際には是非お立ち寄りください。

〔 近日中の予定 〕

①1/28（木）～2/12（金）
「丹波篠山の環境について考える」
主催：丹波篠山市農都環境課

②3/4（木）～3/11（木）
「２０２０年度景観写真展」
主催：丹波篠山市地域計画課

図書館からのおねがいです

- ほかにも読みたい方や予約の方もおられます。期限内の返却をお願いします。
- 濡れたり傷んで返却される本が増えています。みんなの本です。大切にお読みください。
- 兵庫県内でも新型コロナウイルスの広がりが見られます。来館時は必ずマスク着用でお願いします。

広場

今年は、６４３４人の犠牲者を出した阪神・淡路大震災から２６年、１５４６７人の命を奪った東日本大震災から１０年となる年です。そして、日本で新型コロナウイルス感染が確認されてから１年が過ぎました。日々、新規感染やお亡くなりになったニュースが流れていますが、一向に収束を見せないこの感染症も一種の災害ではないでしょうか。

私たちが今取り組まなければならないのは、私たちの身近なところで感染を拡大させない努力です。図書館をご利用のみなさまにも、とにかく今はマスク着用や手洗いなどへのご協力をどうかよろしくお願いします。

また同時に、災害は忘れたころにやってくると言います。災害の記憶を忘れず、大切な人を守るために、日頃から備えておくこともお忘れなく。　　中央図書館 館長　樋口裕昭

■丹波篠山市民センター図書コーナー（丹波篠山市黒岡 191）
TEL 079-552-0394　開館時間 10:00～18:00（日曜は 17:00 まで）
※職員滞在時間は、 12:00～16:00 です。

スマートフォン版蔵書検索システム